

Miyoshi City News Release



令和8年7月1日

令和8年度第1回三次地区にぎわい創出事業実行委員会の開催

三次市では、昨年度、三次市三次町(以下「三次地区」という。)ににぎわいを創出するため、関係団体の代表者や市職員で構成する「三次地区にぎわい創出事業実行委員会」を立ち上げ、官民一体となって取組をすすめてきました。

今年度も、継続的に三次地区のにぎわい創出に取り組むため、第1回実行委員会を次のとおり開催します。

実行委員会では、昨年度の取組を踏まえつつ、新たなメンバーも加え、2つのチームに分かれて取組を検討する予定です。

■令和8年度第1回三次地区にぎわい創出事業実行委員会

1 日時

令和8年7月2日(木) 14:00～16:00

2 場所

三次市役所 本館6階602会議室

3 議題等(予定)

- (1) これまでの取組について
- (2) 今年度の取組について
 - ・事業実施計画(案)について
 - ・チーム別協議(安全対策チーム／魅力探求チーム)

※別紙資料:令和7年度の取組概要



広島県三次市

建設部 都市建築課 都市計画係 (担当:杉谷・藤川)

TEL:0824-62-6160 FAX:0824-62-6166

三次地区にぎわい創出事業実行委員会について

三次市三次町ににぎわいを創出することを目的に、各種事業の企画・運営について検討や研究を行う実行委員会形式の組織として、令和7年度に設置されました。実行委員会のメンバーは、三次町と関わりの深い商工業者や住民自治組織、観光関連団体のほか、参加を希望した三次市職員で構成されています。第1回実行委員会を令和7年6月に開催し、これまで複数回にわたって、三次町のにぎわい創出に向けて協議を重ねてきました。

この実行委員会の活動費用は、すべて三次市からの補助金で賄われていますが、その補助金の元となったのが、令和6年度に株式会社フレスタ様からご寄付いただいた企業版ふるさと納税です。三次市の地域活性化のために寄付いただいた貴重な財源をもとに、官民一体となって様々な意見を交わし、三次町のにぎわい創出のための各種事業の展開や調査研究を進めているところです。

実行委員会活動の経過

- | | | |
|-----|--------------|------------------------|
| 第1回 | 令和7年6月4日(水) | 令和6年度取組報告/令和7年度予算・事業計画 |
| 第2回 | 令和7年7月22日(火) | 令和7年度実施事業の検討 |
| 第3回 | 令和7年8月26日(火) | 令和7年度実施事業の検討 |



3回の実行委員会を通じ、様々な意見を交わした中で、各委員の共通認識として見えてきたことは、「にぎわい創出は、外部から三次町にたくさんの人を呼び込もうとするのではなく、まずは三次町に住む人々が街への愛着や誇り、ここに住み続けたいという思いを持ち続けてもらうために取り組むものではないか」というものでした。これを踏まえて、実行委員会の取組の最終目標を「住民満足・シビックプライドの醸成」と位置付けて、課題解決や魅力発信・向上にむけた取組の検討・研究を進めています。

<取組のテーマを3つに区分>

「安全」

石畳通りの歩行者が通行車両に危険を感じているという声を踏まえ、安全安心な歩行空間の確保のための研究を進めた。【勉強会の実施】

「観光」

三次もののけミュージアムや石畳通りといった魅力ある資源を活かし、観光客だけでなく住民にも親んでもらえるようなしながけができないかと考え、街歩きの満足度向上をねらう事業を検討した。【もののけベンチの設置】

「学術・文化」

三次町には歴史的・文化的な資源が豊富であり、アカデミックな切り口で魅力を伝えることで、市内外に対して三次町のすばらしさを今まで以上に届けることができるのではないかと考え、調査研究を進めた。【先進地を視察】